

新たな林業の担い手の育成を目的に行なう就業相談会

「森林の仕事ガイダンス 東京」

日本の森林の現状や森林整備の重要性をアピールする
「ちょっと森林のはなし Sacas から」を同時開催

◇「森林の仕事ガイダンス 東京」概要◇

全国森林組合連合会（会長：國井常夫、東京都千代田区）は、林業の担い手の確保・育成を目的に、森林・林業に関心のある方を対象とする就業相談会「森林の仕事ガイダンス 東京」を9月5日、6日、赤坂ギャラリーで開催します。

開催日時	場所	相談ブース数(参加都県)
9月5日(金) 13時～19時 6日(土) 10時～18時	赤坂ギャラリー 港区赤坂 5-3-2 赤坂サカス内	東京、埼玉、千葉、神奈川、茨城、 群馬、栃木、全国森林組合連合会 の計8ブースを予定

会場では、参加1都6県の林業労働力確保支援センター・森林組合連合会と全国森林組合連合会が合計8ブースを設け、各地域の林業就業に関する情報提供や相談に応じます。また、林業への就業を目指して研修中の“緑の研修生”によるトークショーや森林の現状を紹介するパネル展示を通し、来場者に森林の大切さを認識してもらい、林業への就業を支援します。

参加条件・方法

参加費用：無料 / 参加資格：性別・年齢不問

事前の参加申し込み：不要(当日会場にご来場ください)

一般の方からのお問い合わせ先：

全国森林組合連合会 担い手対策課 03-3294-9712(受付日時：月～金 10:00～17:00)

緑の雇用総合ウェブサイト『RINGYOU.NET』 URL: <http://www.ringyou.net>

* 林業労働力確保支援センター：各都道府県に設置されていて、林業に従事したい人のために説明会や求人情報の提供を行ないます。なお、都道府県により各団体の名称は異なります。

* 相談ブース数などは、2008年8月18日現在の情報です。参加都県の都合により変更になる場合もあります。

◇「ちょっと森林のはなし Sacasから」概要◇

* ガイダンスと同時開催、会場：赤坂サカス内 Sacas 広場(ガイダンス会場の赤坂ギャラリー前)

幅広い人に森林や林業についてアピールするため、どなたにも無料でお楽しみいただける催し「ちょっと森林のはなし Sacas から」を、森林の仕事ガイダンスと合わせサカス広場を会場に行います。オープニングの江戸消防記念会メンバーによる江戸木遣と纏振り、緑の研修生 0B によるチェーンソーアートの実演、木の枝などを使いアクセサリーやプレート等を作る木工教室（協力：NPO 法人『お山の森の木の学校』）、気象予報士森田正光さんによるトークライブ、オカリナ奏者 宗次郎さんによるオカリナ・ライブ演奏などを実施します(いずれも参加費無料)。また、森林の魅力や大切さ、林業の現状を伝えるラジオ番組「ちょっと森林のはなし」の公開収録も行います。

「江戸木遣と纏振り」:9月5日(金) 12時15分～約15分間(予定)



江戸町火消しの風俗を残すための保存会「社団法人 江戸消防記念会」(鹿島靖幸会長)メンバーによる木遣と纏振り。木遣はもともと大木などを運ぶ際のかけ声から生まれた労働歌と言われています。「森林の仕事ガイダンス～ちょっと森林のはなし～ Sacas から」のオープニングとして、江戸時代から継承されてきた伝統文化をお楽しみいただきます。

「ちょっと森林のはなし 公開収録」:9月6日(土) 12時～13時



日本の森林の魅力や大切さ、林業の現状を伝えるラジオ番組『ちょっと森林のはなし』(5分間番組・2007年7月スタート)。TBS ラジオを基幹とする Japan Radio Network(JRN)系列 20 局で好評放送中です。今回、キャスターの葛城奈海さん、ナビゲーターの中村尚登さん(TBS アナウンサー)が特設ブースから公開収録を行います。

「森田正光のトークライブ」:9月5日(金) 13時30分～14時30分



異常気象と環境問題～どうなる地球温暖化などのテーマで講演も行う気象予報士森田正光さんによるトークライブをお楽しみいただきます。当日は、森林の魅力や森林の現状について話していただく予定です。

「森林のライブ」:9月6日(土) 16時～17時



オカリナ奏者の第一人者 宗次郎さんによるライブ演奏をお楽しみいただきます。宗次郎さんは、常に自然や土との関わりの中でコンサート、作曲、創作活動を続けたいと考えるアーティストです。2008年8月、茨城県の自宅近くに『オカリナの森 交流館』を完成させ、オカリナ愛好家との交流をめざしています。

「緑の研修生 OB によるチェーンソーアート実演」:9月5日(金)、6日(土) 両日各3回実施



チェーンソーを使って、丸太から動物の姿を削り出すチェーンソーアートの実演を行います。東京からIターンで奈良県吉野に移住、現在、黒滝村森林組合で働く梶谷哲也さんは平成15年度の「緑の研修生」です。林業のかたわらチェーンソーアートを2002年から始め、2006年「チェーンソーアート世界大会 in 東栄」第5位(3時間部門)の腕前です。

「無料木工教室-お山の森の木の学校」:9月5日(金)、6日(土) 両日とも随時実施



新潟県の中ノ沢溪谷森林公園にある「お山の森の木の学校」(明石浩見代表世話人)による木工教室です。どなたでも無料で参加いただけます。木の枝などを使ってキーホルダーやプレートなどのアクセサリを作成、お持ち帰りいただきます。

*イベントスケジュールは進行の都合で変更となる場合もあります。

森林の仕事ガイダンスの実施目的

日本の国土面積の約7割（2500万ha）は森林で、その約4割（1140万ha）は人工林が占めています。スギやヒノキなどの人工林は人間の手で守り育てていかないと荒れてしまいます。しかし、林業の後継者不足等から手入れ不足の山が増えています。「水を貯え、二酸化炭素を吸収して地球温暖化を防ぐ。そんな大切な働きを持つ森林を、もっとイキイキと再生させたい。過疎が進む山村を、もっと元気にしたい。」その実現に向け全国森林組合連合会は「緑の雇用担い手対策事業」（林野庁）の実施主体として、森林の仕事ガイダンスを通し多くの方に日本の森林の現状や森林整備の重要性、森林の再生に向け若く元気な人材が必要とされていることをアピールし、未来へ生き生きとした森林を残すための新たな森林の担い手の確保・育成に取り組んでいます。

「緑の雇用担い手対策事業」

林野庁の「緑の雇用担い手対策事業」は、林業就業者の減少と高齢化が進む中で、地球温暖化防止森林吸収源10カ年対策の推進に必要な森林整備の担い手を確保・育成するための事業です。平成18年度から平成22年度までの5カ年間で実施し、森林の担い手の減少、高齢化の改善に向け、新たな林業の担い手を育成していきます。

《緑の研修生制度》

林業に就業していくためには、多様な作業、危険な作業に適切かつ安全に対応できるよう技術を身につけることが必要です。そのため、林業へ就業することを意志決定した人に対して、「緑の研修生」として専門的・技能を習得するための研修・講習等の「基本研修」を実施し本格就業に向けた支援を行います。さらに、基本研修修了者を対象とする「技術高度化研修」（年間100日程度）、平成20年度からは「森林施業効率化研修」が追加され、3カ年間の研修により、新たな森林の担い手としての技術・技能の習得を支援します。

緑の雇用総合ウェブサイト「RINGYOU.NET」（<http://www.ringyou.net>）

RINGYOU.NETは、全国森林組合連合会が開設する緑の雇用に関する総合ウェブサイトです。森林・林業の担い手となるため研修を受ける“緑の研修生”の様子を紹介する広報誌「Midori Press」の内容紹介、各地で行なう「森林の仕事ガイダンス」のスケジュール、様々な催しを紹介する「イベント・カレンダー」、緑の雇用について説明する「緑の雇用とは」「緑の雇用Q&A」、林業の作業内容を説明する「森林の仕事紹介」などのコンテンツで構成しています。なお、今回の「森林の仕事ガイダンス～ちょっと森林のはなし～Sacacから」に関する情報は8月25日からUP予定です。

当資料に関する報道関係の方からのお問い合わせ先

全国森林組合連合会 担い手・雇用対策部 担当：笠間、近藤

電話：03-3294-9712 / 〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-1-12

または

森林の仕事ガイダンス事務局 広報担当：高橋、寒河江（サン・クリエイティブ・パブリシティ内）

電話：03-3545-0511 / 携帯：090-4667-6116